

医学部後援会

1. 定時総会が開催されました

6月26日、有山登記念館講堂において、会員62名が出席して、平成22年度の定時総会が開催されました。

白岩会長の挨拶に続き、前年度の事業報告、会計報告、監査報告が行われました。当会の前期末の資産（預金残高）は1456万円余となっております。

次いで、本年度の事業計画、予算案等が承認され、加えて、前号259号でお知らせした三井生命との生命保険契約に関し、後援会が三井生命と団体扱いの契約を締結することが承認されました。これにより、手数料収入が後援会の財政基盤の確立に貢献することが期待されます。

閉会后、順天堂大学医学部医史学研究室の酒井シヅ特任教授に、順天堂大学医学部の歴史に関する興味深い講演をしていただきました。懇親会は、同講堂地下食堂にて行われ、ホームカミングデーの招待者19名（平成7年、12年、17年卒の会員）を交えて旧交を暖めることができました。

2. 褒賞について

定時総会の席上、本会として栄えある第1回目の「地域医療・学術奨励賞」の授賞式が行われました。

本年の受賞者は、順天堂大学医学部耳鼻咽喉科学講座の池田勝久教授からご推薦のあった松本文彦先生（平成12年卒）と、産婦人科学講座の竹田省教授からご推薦のあった黒田恵司先生（平成13年卒・英国留学中のため父上黒田博之様が代理出席）で、白岩会長から、褒賞金とともに賞状が授与されました。

松本先生は頭頸部腫瘍学を中心に研鑽を積み、平成15年から癌研究会付属病院において臨床面、特に手術手技の習得に従事された後、テキサス大学のアンダーソン癌センターに留学され、本年5月に帰国されて順天堂大学医学部附属静岡病院において診療に当たっておられます。

黒田先生は、不妊治療などの生殖医療や腹腔鏡手術などの低侵襲手術の症例を多数手がけられるとともに、学会への発表や論文作成にも励まれ、第38回国際婦人科低侵襲外科学会で最優秀論文賞を受賞されておられます。

なお、今年度の事業計画においても、引き続き褒賞を行うことになりました。医学研究のみならず地域医師会活動、保健医療活動など広範な分野から応募者を募りたいと思いますので、会員の皆様からも受賞候補者の積極的な推薦をお願いします。

応募要領等は後援会事務局【担当：木村（TEL：03-5802-1019）】までお問い合わせください。

（医学部後援会 副会長 古川 善博）